

## 定例会：どなたもおいでまい！

TRHの定例会は、『リカバリー』カタナ・ブラウン、坂本明子監訳、金剛出版を読んでいます。栗林コミセンで行い、15時からですが、これは当事者の方も参加しやすいように時間設定しました。今月は、新しいメンバーの方がおいでくださるようです。後半には、来年度の講演会の企画についてアイデアを出し合っています。ACTに関心のある方もどうぞ！無料ですので、どなたもおいでください！（TRHのホームページ：<http://www.geocities.jp/recoveta/>）

## 相談支援事業所EVEN 発進！

来る10月1日より相談支援事業所EVEN(イーぶん)が事業開始しました。電話でイーブンさんと呼ばれるのが心地よくなってきましたが、病院の現状というものもより詳しく分かってきました。大阪精神医療人権センターの方たちが言うておられる「戦い」というものがどういふものか少しわかってきたように思います。豊かなアイデアが必要です。

電話：070-5680-0916

メルアド：[hillman@tea.ocn.ne.jp](mailto:hillman@tea.ocn.ne.jp)

ファックス：050-3737-7151

## 》NewsNews 《

淡路障害者生活支援センターに見学に行くことになりました。ピアの方が地域移行支援に加わっているというのは、聞いただけではわからないということで、11月14日(金)の午前中に伺うことになりました。一緒に行かれる方はいませんか？まだ私一人ですので、あと4人まではリカバリー号に乗れますよ！



Takamatsu  
Recovery & Hope

## 来月の定例会

来月の定例会は、栗林コミュニティセンターの都合により、第3月曜に変更になります。参加される予定の方は、申し訳ありませんが、第3月曜日の17日になりますのでお間違えのないようお願いいたします。

先日ある方とメールをしていて、不覚にも涙が出てしまいました。「私は全ての精神障がい者の方が救われるのを見たい。」この言葉の大きさ、純粋さ、重さを私は心に感じ涙が出ました。皆さんはどのようにお感じになりますか？

# TRH通信2014.10.vol.2

発行責任者 NPO高松Recovery & Hope : 齋藤 工 発行日2014年10月26日

## 精神保健福祉部会に参加しました。

去る10月17日に自立支援協議会の精神保健福祉部会に出席させていただきました。私は相談支援事業を一人体制でやっていますので、言ってみれば職場みたいなものになるでしょうか？経験豊かな方たちばかりで頼もしい限りでした。地域移行のケース検討から、精神保健も措置の時代から契約の時代が変わっていつているんだなと思いました。11月22日に大阪である『トリエステ型地域精神保健サービスを世界へロベルト・メッツィーナ氏講演会』についてアナウンスさせていただきました。皆さん、淡路行の研修も併せて関心を持ってくださったようで嬉しかったです。

## 出合い

この間、相談支援事業の一環として、作業所や行政、相談支援事業所の方たちとお会いさせていただきました。NPOや地域での精神保健に関心がありそうな方には、ACTのこともお話をします。中には共感をしてくださる方も何人かおられて、励まされる思いがします。そして、なんとACTが好きだと言われる方に会ったのです。こんなにも早く出会えるとは思っていませんでした。

次の理事会ではその方との連携についてを議題としてあげたいと思っておりますし、ホームページの(展開)というところにも記していますが、多くの方のニーズな訳ですから、誠実さをもってそれを伝えていく必要があると改めて感じる次第です。

## みんなねっと全国大会の報告を聞いて

先日、むつみ会の会長さんよりみんなねっと全国大会参加されたご様子を聞かせていただきました。いくつかのお話の中に、参加者の方には、当事者の方や家族の方が集まる研修に初めて出席したという方が意外と多いという事でした。家族の状況としては、長年本人が外に出ることができず、家族も最低一人はその方の面倒を見なければならず、もう一人は労働をしなければならない。どこかに相談に行こうとしてもなかなか相談に行くことができない。そうこうしているうちに長い年月が経ってしまう。そういったケースが多いようです。そうしますと家族学習会の企画会議は益々意味のある活動と言わざるを得ません。皆さんのご協力をお願いいたします。

## ＜来月の予定＞

- ・11月8日(土)  
14時～15時  
理事会
  - 15時～17時  
家族学習会の企画会議
  - ・11月17日(月)  
15時～17時  
定例会
- 場所はいずれも栗林コミセンです。